

人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。

# mamori

Autumn 2009 [vol.005]

ま も り

## 特集 We Love 緑のサポーター

「あそび山」を古谷さんがご案内  
みんなで遊ぼう、緑の遊び場

県内7施設、お得なクーポン付  
家族で楽しめる、高知・山の施設

読者からの声が響きます  
しんりんVOICE

山と高知のちょっといい話  
もりからの伝言板

木のぬくもりをプレゼント  
森からの贈り物

木と人・交流館 木どり家を紹介  
木のある暮らし

須崎、樽の滝を歩く  
緑の中のシエスタ



Siesta in the forest.

# 緑の中の シエスタ



## 時間を忘れて見とれてしまう「樽の滝」周辺の雰囲気。

須崎市西部を流れる新莊川は、現在は絶滅されているといわれるニホンカワウソの最後の発見の場として全国的に有名な川となった。アユをはじめとする川魚、数多くの水鳥など、川の豊かさ、自然の恵みを今に伝えている。上流付近では川遊びやキャンプ、アユ釣りなど、大勢の人で賑わう。

須崎市役所から車で約二十五分、国道一九七号から上分依包地区に入つていった奥にある「県立公園樽の滝」は、新莊川の支流・樽川に流れる滝。滝の近くまでは車で入れ、駐車場もある。そこから緑の中を歩いていく。滝の音が「こ」まで響いてくる。

滝の入り口に雰囲気がある住吉神社があり、そこを越えていくと、うっそうと茂る自然林の中、高さ三十七メートル、幅六メートルある「樽の滝」があらわれる。深い森の中を流れ落ちる一筋の滝は、大きさや水量などかなりの迫力がある。滝のすぐそばまで近づくことが出来るし、滝の裏側から回り込んで見ることが出来る「裏見の滝」でもある。

新緑や紅葉のシーズンはもちろん、夏の暑い日にマイナスイオンを体内に取り込めば、元氣と安らぎを与えてくれそうだ。

問い合わせ/須崎市企画課 (Tel.0889・42・5691)



人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。

mamori  
ま も り

高知県森林振興・環境部 林業環境政策課  
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号  
Tel.088・821・4586 Fax. 088・821・4576  
E-Mail. 030101@ken.pref.kochi.lg.jp  
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshi/030101/

森の文化・自然体験メニュー窓口  
こうち森のささやき  
http://www.moritomidori.com/sasayaki/

森林環境税は、県民みんなが負担することで森とのかかわりを認識し、森を守っていくという森林保全を目的とする高知県独自の税制度です。県民税に年額500円を上乗せするもので、個人、法人ともにご負担いただいています。

発行日/2009年10月 制作・編集/クリケット「季刊高知」編集部 with ゴーゴードesign 門田幹也

この冊子は再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。







## 立川の山の暮らしを、 次世代の子どもに伝えたいです。

大豊出身の長野永子さんは結婚後、関西に長く暮らすことで、地元への熱い気持ちが熟成されてきました。そして立ち上げたのが「立川体験交流の会」。立川を知ってもらい、好きになってほしい。そんなメンバーが集まって活動しています。

山の暮らし&森林環境教育  
立川体験交流の会代表 長野永子さん



平成15年に結成された「立川体験交流の会」が森林環境税を活用して毎年行っている夏のイベント「山の生活のタイムスリップ」。大豊町旧立川小学校を会場に、立川の山の暮らしや、自然体験、食文化を伝えています。会の代表である長野永子さんの朗らかとした表情に、立川への愛情が感じられました。

今年のテーマである「山の生活のタイムスリップ」はむかしむかしの住居づくり体験がメイン。高知市や須崎市など町内外から参加した家族が、丸太・竹、かすらなどを使い、昔ながらの住居づくりを行いました。キッチンと緩まないように縛る独特の縛り方「はえがしら」を学びます。作業は順調に進み、午前中に順調に棟上げまで進みました。

その住居の下では、はったい粉(地元では、はね粉と呼ぶそうです)づくり。大麦、きび、大豆などを炒って挽いた粉に砂糖をまぶします。炒ることで消化もよく、香ばしくなります。はったい粉は安全性があり、昔ながらの田舎の携行食、

練り菓子で、子どものおやつになっていたそうです。スタッフに誘われ、子どもが石臼を挽きます。そして大人も喜んで参加。テンポよく挽いていました。

お昼には、女性陣スタッフが心をこめて作った郷土料理のお弁当です。「ゴボウとえごまとサラダ油小麦粉などで作る「こんちん」や、黒大豆の旨みと金時豆の甘味がする、県内でも大豊だけで生産されてきた豆「銀ぶろう」のご飯。碁石茶ゼリー、山菜の煮付けや酢物、じやがいもの味噌つけ…。どの一品も大豊に住む人たちが大切にしてきた味でした。

午後からは立川川でいかだなど川遊びをするチームと、国の重要文化財に指定されている「旧立川番所書院」で見学と解説などを受けるチームにわかれて行動。

この日だけでも大豊の暮らし、食文化、自然体験、歴史などを体験し、学ぶことが出来ました。長野さんをはじめ、「立川体験交流の会」7名のスタッフがいますが、大豊の豊かさです。

問合せ/立川体験交流の会 ☎ 0887-78-0453

## 特集 We LOVE 緑のサポーター

高知には山や森が好きな人が大勢います。  
また、県内には森林保全活動や森林環境教育を積極的に行っている団体も多くいます。  
でも、山での活動や保全なんて大変そう…と思いがちですが、  
実はシンプルに、山や森が好きで  
みんなと集まり楽しむことが好きな人たちです。  
あなたも「緑のサポーター」である団体や、  
団体が主催するイベントに参加して、山を楽しみませんか。  
山をポジティブに変える、自分がかっこいい。  
わたしたちは緑のサポーターが好きです。

森林環境税は、森林保全活動(ボランティアを含む)や森林環境学習、都市と山村の交流、森川海の連携、森の案内人の養成などに取り組む団体の、自主的な活動を支援しています。





# ノルマがなく自分のペースで 間伐するから、楽しいんです。

土佐の森・救援隊の活動は、森林保全ボランティアをしながら小規模林業の推進、副業としての林業の普及など新しいカタチをつくらうとしています。その推進力となっているのが中嶋さん。山を元気にする活動につながります。

**森林保全ボランティア&副業型林業  
NPO法人 土佐の森・救援隊 事務局長 中嶋健造さん**

平成15年に立ち上がったNPO法人「土佐の森・救援隊」は間伐を中心とする森林保全活動のボランティア団体です。その活動は毎年進化を続け、林業のプロといえる森林組合とは別のアプローチで、行政や森林所有者との関係をつくっています。平成17年から事務局長として組織を引っ張っている中嶋健造さんに話を伺いました。

中嶋さんが土佐の森・救援隊に参加したのは組織が立ちあがってすぐ。都市から人が集まり、田舎の山に入って間伐をして、地元の人たちとも交流する活動が、自然とグリーンツーリズムになっていこうと思いついた木材を搬送して少ないながらも利益を出すスタイルにも興味を持ったといいます。

最初は県有林だけでしたが、実績を積みといた町などの町有林、そして個人の方からの依頼で民有林と活動を広げています。今では週に3〜4日、毎日5〜20名程度が集まり、山に入っています。会員は現在約80名。20代以上

の幅広い世代が参加しています。

間伐に参加したボランティアと地域をつなぐ地域通貨券「モリ券」の活用、全国的に評価された林地残材の収集運搬の仕組み、その林地残材を使って仁淀川町と取り組む木質バイオマス事業など、中嶋さんが中心になり企画や交渉をしています。

「木は生き物ですから、3月〜8月ぐらいは生長する時期だし、糖分もいっぱい出すので虫も付きやすい。燃料材ならいいですが建築用材としては良くない。だから冬場の半年間が木を伐つていい時期なんです。それだけに林業の専従は難しい。もって副業としての林業が認められたら大きく変わると思っています。その実験の場として、私たちのNPOの役割りは大きいと思っています」。

今年度から県の補助を受け、副業型林業の養成塾をはじめ土佐の森・救援隊。森林保全のボランティア、林業の副業、ともに山の機能を回復させる大事な山の担い手なのです。



山や川で遊んだ経験が、今の自分たちをつくっています。

チェーンソーの目立て講習の様子。緑と水の森林基金の公募事業で行われた。

問合せ/NPO法人 土佐の森・救援隊事務局 ☎ 090・8973・5752



隅田俊佑さんが自ら造った「鳴川荘」。子どもたちが自然の中で遊び、学べる拠点として数々のイベント、森林保全活動を実施しています。それを受け持つのは「あかいこの会」のメンバー。自らを楽しく、を合言葉に地域のチカラを感じる活動を続けています。

**地域ボランティア&森林保全活動  
あかいこの会 代表 隅田俊佑さん**

高岡郡津野町姫野々、国道197号線沿い「葉山荘」すぐにある鳴川橋を渡り、約1kmあがついてくると、整備されたスペースと建物「鳴川荘」があります。ここ

が「あかいこの会」代表、隅田俊佑さんが自ら創りあげた拠点です。「あかいこの会」とは、水がきれいな溪流・谷川に生息するサワガニを指し、豊かな自然を表わすグループ名。その活動は地域ボランティアと森林保全活動、地域の子どもたちへの環境学習など多岐にわたっています。

あかいこの会は平成元年に結成。主に地域の高齢者への給食サービスの調理や配達、在宅高齢者助け合い活動（ほっとサービス）など、地域ボランティアとして、活動しています。隅田さん

が参加したのは平成4年。民間企業退職後、旧葉山村社会福祉協議会に勤務したのがきっかけで、地域ボランティアがライフワークになったそうです。そして「私も山や川、自然の中で遊んだ経験からいろんなことを学んだと思います。だから地域の人たちと一緒に、次世代の子どもに自然の良さを伝えていきたい」と、会の有志メンバーで、森林環境税を活用し、鳴川荘の敷地内で毎年「ふれあい自然体験シリーズ」などを行っています。これには、町内外から80数名が参加し、講師、スタッフ約20名で、木工体験、料理体験、自然環境や森林環境税をPRするコーナーなども設けています。また、日頃から間伐や花の手入れなど、森林保全活動をメンバーと一緒に楽しみながら行っています。メンバーの一人からも「みんなが無理をしないで楽しみながら活動していますよ」と長く続く秘訣を教えてくださいました。

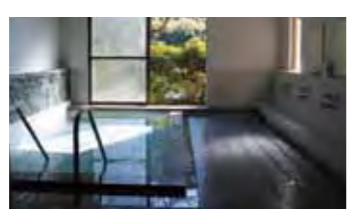
今春には炭焼きグループ「竹輪会」と連携して、その道の経験者の指導で炭窯を作り、炭焼きにも取り組んでいます。今年も第6回ふれあい自然体験を11月15日に、また来年1月には、葉山小学校6年生の卒業記念本立て作りも計画しています。

どんな事にも全力で取り組み行動することを楽しんでいる会のメンバーです。



問合せ/あかいこの会 ☎ 0889・55・2159



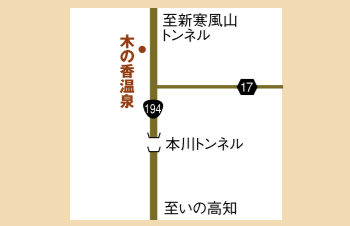


**木の香温泉**

高知県と愛媛県西条の県境で、国道194号沿いにある「木の香温泉」。道の駅・レストラン・温泉・宿泊施設と施設が充実しており、日帰りでも宿泊でも、家族で楽しめる。お肌がツルツルになる温泉がおすすめ。

【特典】温泉の入浴料金100円引き

温泉11:00～21:00(火曜は17:00～)  
レストランのL.Oは20:00  
温泉は大人600円 小学生以下400円  
宿泊(2食付)8,550円～ 小人料金あり  
イン14:00 アウト11:00  
冬季(1月末～3月上旬)の火曜  
香川郡いの町桑瀬225-16  
088-869-2300  
http://www.orienthotel.jp/konoka/



**雲の上のホテル**

橋原町のシンボル 太郎川公園内にある「雲の上のホテル」は、宿泊、レストラン、温泉、プール、地元産品直販所と充実した施設が揃っている。特に温泉の露天風呂から雲を眺めるまつたり時間は、自然と一体になれる。

【特典】温泉の入浴料金100円引き

温泉10:00～22:00(火曜は17:00～)  
レストラン7:30～20:30(L.O)  
温泉は大人500円 小学生以下300円  
宿泊(2食付)12,600円～ 小人料金あり  
イン15:00 アウト11:00  
無休  
高岡郡橋原町太郎川3799-3  
0889-65-1100  
http://www.orienthotel.jp/kumonoue/



**クーポン券** 有効期限 平成22年3月31日

●クーポンを切り取り、本誌掲載施設で提示いただくと各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポンは各施設にて一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成22年3月31日

●クーポンを切り取り、本誌掲載施設で提示いただくと各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポンは各施設にて一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**畑山温泉憩いの家**

土佐ジローの生産者が自然豊かな山里の温泉宿のオーナーとなり、名物の土佐ジロー料理をじっくりと堪能できるのが「畑山温泉憩いの家」。日帰り入浴や食事処もある。隣接する畑山学校(本図書館)が楽しい。

【特典】温泉の入浴料金が半額

温泉10:00～19:00(10月～3月は18:00迄)  
食堂のL.Oは18:30(10月～3月は17:30迄)  
温泉は大人400円、小人200円  
宿泊料は素泊まり4,500円、土佐ジロー欲張りコース8,200円(2食付)  
イン15:00 アウト10:00  
水曜(祝日の場合は営業) 年末年始  
安芸市畑山甲982-1  
0887-34-8141  
http://hatayamamura.jp/

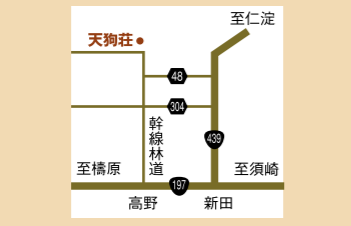


**高原ふれあいの家 天狗荘**

標高1400m四国カルスト天狗高原に建つ「天狗荘」は、石鎚連峰から太平洋まで大パノラマや満天の星空、四季折々の草花など、自然の神秘と感動を味わえる宿。レストランのメニューも充実している。

【特典】宿泊料金の10%割引

レストラン 10:00～16:00  
素泊まり6,090円 2食付8,400円～ 小学生料金あり  
イン16:00 アウト10:00  
宿泊 レストランとも無休  
高岡郡津野町芳生野乙4921-22  
0889-62-3188  
http://www.tenguso.com/



**クーポン券** 有効期限 平成22年3月31日

●クーポンを切り取り、本誌掲載施設で提示いただくと各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポンは各施設にて一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成22年3月31日

●クーポンを切り取り、本誌掲載施設で提示いただくと各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポンは各施設にて一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。



**味工房じねん**

安田町の中山地区で、地元産の農産品、特産品が揃っている「味工房じねん」。安田川で獲れた天然鮎のお寿司、要予約や、自然薯、山芋を使ったじねん井など、中山の味があります。自家製アイスクリームも評判で美味しい。

【特典】100円OFF(お一人様一枚まで)

7:00～15:00(土・日・祝は16:00)  
食堂L.O14:30  
第3木曜日と年始  
安芸郡安田町正弘566  
0887-39-2366  
0887-39-2367  
http://blog.livedoor.jp/jinen2009new/



**農家民宿 はこば**

地域活性化のシンボルとなっている「はこば」は、オーナー夫婦の手柄がそのまま反映された、優しい空間。全国から口コミで広がった大正中津川へ足を運んでくれる。田園や山なみを見渡せる露天風呂は格別の雲田気がある。

【特典】2名1組の方に手もみ茶200gプレゼント

宿泊(2食付)6,000円～ 小学生5,000円 定員8名 一日一組の宿です。事前にご予約願います。  
イン15:00 アウト10:00(ご相談に応じます)  
高岡郡四万十町大正中津川146  
0880-27-5305  
http://park7.wakwak.com/hakobas/



**クーポン券** 有効期限 平成22年3月31日

●クーポンを切り取り、本誌掲載施設で提示いただくと各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポンは各施設にて一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成22年3月31日

●クーポンを切り取り、本誌掲載施設で提示いただくと各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポンは各施設にて一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**家族で楽しめる 高知・山の施設**

●●●クーポン付き

**駐車場**  
**レストラン**  
**身障者用トイレ**  
**授乳・オムツ交換台**  
**車イス貸出**  
**スロープなど、バリアフリー**  
**子供の遊具など**  
**温泉**  
**農林など、体験メニュー**

笑顔とふれあいと癒しを求めて、次の休日に山の施設で遊びませんか。

森を身近な遊び場に。古谷寿彦さんがあそび山をご案内。



ターザンごっこ、タイヤブランコ

あそび山には遊具がありません。自然豊かな野外で、遊びを見つけて自分(グループ)の責任で自由に遊ぶことがモットーです。これらの遊びもその一つです。



ログハウス小屋

遊び疲れた子どもたちが休憩したり、図鑑や本を読んだり、古谷さんや参加者の皆さんとのコミュニケーションを楽しむ場所です。もと森林管理局にあったログハウスを移設しました。

「あそび山」インフォメーション

あそび山代表・やま守り 古谷寿彦&滋子  
高知市福井町、鴻の森みかん園の登り口  
090-4506-1988  
第2・3土曜・日曜 9時～16時  
(但し、グループや団体の事前申込みがあれば開園します)  
無料 可  
●高知市中心部より車で約20分

これからの行事予定

11月8日 焼き芋を作って「焼き芋ランチ」、皆で大なわとび  
12月13日 紙ひこうきとばし、こままわし、皆で大なわとび  
2月14日 七草さがし、七草がゆを食べよう  
3月14日 じゃんけん遊び、エスケ、けんけんパー

「このあそび山に子どもたちの声が響く」ことが、私たち夫妻も、この周辺に住む人たちにとって、嬉しいことだと思えます。是非、遊びに来て下さい。

穴ぼこ

地面の大きな穴ぼこもすべて楽しい遊び道具です。開園して以来、地域の小学校や保育園も遊びに来て、2人のもとにはたくさんの手紙や絵が届いています。それが財産だとか。



あそび山



すべり芝

子どもたちがもともと声を出して喜び、下っているのがすべり芝。小さい子から小学生まで、元気いっぱい。少しぐらい転んでも平気!初心者の子どものために短いコースもあります。

自費を投じて子どもたちの遊ぶ場所づくりを行った古谷さんご夫妻。それに協力する仲間たち。遊具はなくても大丈夫。穴ぼこや斜面、林があれば子どもたちは大喜び。あそび山に子どもたちの笑い声が聞こえれば、古谷さんたちもにっこり。

案内人



**古谷さんご夫妻**

あそび山代表・やま守りとして活動するご夫妻。自費で購入し、仲間たちと一緒に整備していった行動力に驚かします。

高知市福井、鴻の森みかん園の登り口にある「あそび山」へようこそ。私が案内人の古谷寿彦です。この施設は平成17年秋にオープンしました。あそび山をつくるきっかけは、妻が県庁のごも課に勤務していた時に、子どもの心そだてを目的に「あそびの森事業」を行ったことです。里山で子どもたちが思いっきり遊ぶという内容でしたが、キラキラ目を輝かせて遊んでいる姿が印象的で、定年後はボランティアで、そんな子どもの遊び場を提供したいと思います。そこで思い切って、近所の1700㎡の土地を購入して、子どもたちが思いっきり遊び学べる「あそび山」をつくらうと、ふたりの意見が合いました。木を伐ったり、整地にしたりと、仲間たちと一緒に自力で整備しました。



1 Topics

企業も積極的に県産材を活用中!

森林環境税を活用する事業の一つに、「木づかい促進事業」があります。これは「木に親しむ」「木を活かす」活動の一環で、県民が日常の生活の中で身近に県産材にふれる機会をつくる取り組みをしている団体、企業を支援するものです。

これまで教育関係団体からの申請が多かったですが、企業も積極的に取り組んでいます。

「サニーマーケットあそびの店」では地域の憩いの場となる、店頭のテラスの床を県産の間伐材で作り、木の香りや優しさを届けています。また酒類販売コーナーにも活用しました。「地域密着店」として地元と積極的に交流し、県産材の活用など森林保全への貢献とあわせて、地域を元気にしています。

高知駅から北西方面すぐの「四国銀行よさこい咲都支店」は、太陽光発電設備や外皮断熱（エコガラス等）など環境に配慮しています。その店内の床には県産の間伐材を使用しており、木の香りが漂います。また、会議室の机なども県産材。県産材を使うことで森林保全への貢献が出来るという想いから導入をしたといいます。

企業の積極的な取り組みが、森林を元気にします。

木づかい促進事業に関する問い合わせ  
 所 県木材産業課 ☎ 088・821・4591



サニーマーケットあそびの店



四国銀行よさこい咲都支店

2 Topics

森のようちえんに訪問。

高知県森と緑の会の主催で、鳥取県智頭町の森のようちえん「まるたんぼう」の視察研修が行われました。ボランティア団体の方々や、県・市の担当者など関係者が、智頭町の取り組みについて勉強してきました。まるたんぼうの活動はホームページでご覧いただけます。

☞ [http://space.geocities.jp/marutanbou\\_tizu/main.html](http://space.geocities.jp/marutanbou_tizu/main.html)



しんりん 森林ボイス VOICE

Mamori 4号で約300通の投書を頂きました。その中で森林環境税や本誌について感想を多く頂きましたので、県民の皆さんの声としてお届けします。



前号の特集「森のようちえん」について多くのメッセージを頂きました。

表われます。自然を大切にすることを私と孫たちに伝え続けたいと思っています。

(兵庫県神戸市 62歳 女性)

●保育士をしているので「森のようちえん」に興味深々読みました。祖父母が大川村在住なので、幼いころから森は身近にありました。今、3歳の息子も大川の自然が大好きです。森や自然は、力を分け与えてくれる有難い存在です。

(吾川郡いの町 34歳 女性)

●今初めてスパーで目にして手に取りました。自分にも小さい子どもがいるので「森のようちえん」にすごく感動というか、大切さを感じました。高知には自然がたくさんあるので、小さいうちから体験させてやりたいと思います。

(高知市 34歳 女性)

●公益社団法人高知県森と緑の会事務局からのコメント

将来の予測が困難な時代、「豊かな想像力」と「創造力」が求められます。その土台は豊かな感性、旺盛な好奇心、鋭い観察力、飽くなき探究心と強い心と体ではないでしょうか？人と森(自然)の教育力が協働できる「森のようちえん」は、効果よく経済的にこの土台づくりができ、よりよい生活習慣を確立しやすい素晴らしい子育ての方法で、全国的に普及しています。当会では森林率日本一を誇る高知県に相応しい取り組み

組みとして、「森のようちえん」の普及を推進しています。

●高知は山と川ばかりで自然は豊かと思いましたが、実は財源も人手も足りず荒廃するばかり。森林環境税はいい案だと感じています。森は海を救うし、人の心も豊かにします。

(吾川郡いの町 50歳 女性)

●オフロードバイクに乗っています。山に入るとなぜこんな所まで道路工事しているのかと思います。山肌が削られ、道が舗装され、山が泣いているように思います。林道のままで良いのでは、と思います。緑深き山の中で自然の音に包まれていると、心が軽くなります。

(徳島県小松島市 42歳 女性)

●5歳の息子にも山や川で親しんで遊ぶ子どもに育ててほしいので、山や川のイベントにはよく参加しています。この本を読んで家族でまた山へ出かけたくまりました！父と息子は登山にはまっています。

(宿毛市 30歳 女性)

●私自身、親から植林の手入れ法や、境界線などを教えてもらわないといけないのですが今の仕事が忙しくてそのままになっていきます。本誌はそういう人たちへの刺激にもなっていたいへん良いと思います。

(高知市 42歳 男性)

●本誌のタイトル「人と森が仲良くなっ、すてきな未来につながる」という「mamori」がとてもハートにマッチしています。県民一人一人がこのハートが伝わりましょう。

(香美市 51歳 女性)

●森林環境税がどんなことに利用されているのか、また、私たちの生活にどのように還元されているのかをもっと広めたいと思います。この冊子のよにオシャレだと、皆が手にとって見ると思います。もっと「高知らしさ」をアピールして!

(南国市 32歳 女性)

●近県では大分の湯布院、熊本の阿蘇山などドライブをして、その美しさに心打たれました。高知の山も森林環境税を活かして観光客を誘致できるような魅力的な山となつてくれることを願います。

(高知市 35歳 男性)

●手づくりの木のおもちゃは、温かみがあり、ふれると幸福になります。今、お金を出したら何でも買える時代ですが、創造性を高める木のおもちゃで、小さい子どもたちに遊んでもらいたいです。

(南国市 48歳 女性)

森林ボイスのご意見に回答!

(高知県林業環境政策課)

Q1 私山を保有しているが、間伐などの整備はできません。この税の目的・意義はどうにも理解できません。何のために徴収されるのでしょうか。

(吾川郡いの町 70歳 女性)

A1 きれいな水や空気の供給、たくさんの生き物の住みかとしての役割など、森林がもたらす機能は県民のだれもが享受しています。しかし現在、戦後新たに植林された人工林の多くは、間伐が遅れて荒廃し、これら機能低下しています。森林環境税は県民一人一人に広く負担をいただきながら、荒廃森林の解消やCO<sub>2</sub>吸収確保の面など森林保全に努めているところです。また、森林環境学習や本誌の発行などを通じて、都市住民の皆様にも森林の大切さや森の楽しみ方をお伝えし、「県民参加の森づくり」にご理解いただけるようPRなどを行っています。

お持ちの山林を間伐するご希望がありましたら、最寄りの市町村役場や森林組合、または県林業事務所にお問い合わせください。

Q2

高知県へ主人の転勤で来てまだ1年も経っていませんが、他県にも森林環境税というものがあるのでしょうか？私は高知へ来て、このmamoriで初めて知りました。単純に良い施策だと思います。子ども達、みんなの為に保護していきたいと思っています。良いことを知りました。ありがとございます。

(高知市 42歳 女性)

A2

高知県では平成15年に全国都道府県に先駆けて森林環境税を導入しました。その後、全国各県で導入が進み、現在30県において同様の取り組みが行われています。四国では愛媛県が平成17年から導入しています。



森林環境税はこうちの森をまもることに使われています。

Post Card

7 8 0 - 8 0 7 1

こちらに50円切手を貼って投函して下さい。

高知県高知市鴨部高町14-6

「季刊高知」内 mamori 編集部行

氏名	性別	年齢	歳
住所			
連絡先 E-mail			
購読プレゼント希望番号	番	裏面の森林環境税に関するアンケートにご記入がない場合は、無効とさせていただきます。	





温かみがある木の火鉢(枠のみ)です。スギは10,000円、ヒノキは20,000円になります。



スタッフが作ったエプロンのマークです。



切り株のイスは、木の年輪が模様になっています。



この日は徳島県から視察研修を受け入れて大忙しだった「木どり家」の皆さん。その後の取材も快く受けて頂きました。



キャンプテーブル、一家にひとつ、どうですか。木の材質、ニス使用などによって料金が変わりますが、目安としてスギで12,000円、ヒノキで23,000円です。(塗装別)

# 木の暮ら。し。

「木のぬくもり」を楽しむ、池川木材の地産地消のやかた。

## 木と人・交流館 木どり家

☎ 毎週金・土・日  
🕒 9:00~16:00  
※事前に予約をお願いします。☎ 088・34・3655 (FAX兼)  
📍 吾川郡仁淀川町北浦1180

📍 池川遊遊会  
☎ 090・1004・9501 (三浦)  
☎ 088・34・3655 (FAX兼)

平成10年、池川のお母さんたち6名が集まってつくった地域活性化のボランティアグループで「池川遊遊会」を結成。実際に芋掘りや竹馬づくりなど農家体験メニューを行い、町内外から人が集まっていた。そうした活動の積み重ねの中、自分たちの拠点が欲しいとメンバーでお金を出し合っただけで、平成15年に完成した木と人・交流館「木どり家」です。

代表である三浦栄子さんは「池川を見渡すと森林ばかり。木材は安いだろう」と思ったそうですが、間伐材など木材の金額よりも、それを山から運んでくるのが大変で、見込み違いだったとか。誰も木工の経験はなく、土佐山田にある森林研修センターに通い勉強したのです。この前向きさが遊遊会の魅力です。

木取りとは、大工さんが家を建てる前に、材木の寸法を測って切り、準備すること。木どり家では遊遊会が材木や道具をすべて準備するので、家族で木工づくりを楽しむことができるスタイル。テーブルやイスなど事前に希望する作品、

サイズをFAXなどで連絡を取り合います。費用は材料費(木材原価と加工賃)だけ。池川の木材を使ってもらうことが目的で、木材の地産地消です。「ここでは木のぬくもりを感じてもらいたいですね。設計図は一緒につくりまし、つくりながら迷っているお客さんにはアドバイスします。でも私たちよりずっと上手なお客さんも多いです(笑)。最初から大物で手におえんとなれば地域の達人に助っ人を頼みます(笑)」。

遊遊会で注文を受けて製作もします。大きなものでは学校の朝礼台やキャンプテーブル、イスなど。また木どり家に来たお客さんのために、プランターカバーや巣箱などの販売も行っています。

池川の直販所「439市」(仁淀川町北浦)の運営、木どり家の運営、秋には地区の行事も多く忙しい遊遊会ですが、平均年齢68歳のお母さんたちが、池川の木材と地域を活性化のために頑張っているのです。

## 森からの贈り物 【プレゼント】

本誌のご意見、ご感想をお聞かせ下さい。下記のアンケートにお答えいただいた方に、素敵なプレゼントをご用意しました。応募締切りは平成22年1月20日(水) 必着です。

### ① 北川村温泉ゆずの宿ペア無料宿泊券 (1組2名様)

北川村の川と森に囲まれた静かな温泉宿です。2006年に全面改装し、新装の和洋室と、夜空に満天の星が眺められる「露天風呂」が人気。そして、北川村の野菜や川魚・えび・鹿のほか、「山奥」と言われながらも意外と近い太平洋の新鮮な幸を組み合わせた「会席料理」をどうぞ。

📍 安芸郡北川村小島121  
☎ 0887・37・2321  
🌐 <http://www.kg3.jp/kt-onsen/>

利用期間は平成22年3月~9月までです。満室の場合など宿泊できない場合もありますので、必ず事前予約をお願いします。



### ② オーベルジュ土佐山ペア無料宿泊券 (1組2名様)

高知の奥座敷・土佐山にある「オーベルジュ土佐山」は、生産者の顔が見える新鮮な食材を使用した創作和食と、土佐山を愛する地元のスタッフが心を込めておもてなしをしてくれます。心の赴くままに、何もしないという贅沢を、お部屋、温泉などで味わってみませんか?

📍 高知市土佐山東川661  
☎ 088・850・6911  
🌐 <http://www.orienthotel.jp/tosayama/>

利用期間は平成22年3月~9月までです。満室の場合など宿泊できない場合もありますので、必ず事前予約をお願いします。



### 応募条件は、アンケートの記入です。

下記の専用ハガキ、または「高知県林業振興・環境部 林業環境政策課」のHP (<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/>) から必要事項をご記入の上、ご応募下さい。締切りは1月20日(水) 必着です。抽選の結果につきましては、当選者の方のみ郵送、又はE-mailでご通知いたします。なお当落につきましての電話確認等はご遠慮願います。

### 個人情報は厳守します。

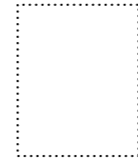
ご応募頂いた皆様の個人情報は、プレゼント提供会社、高知県林業環境政策課、「季刊高知」編集部が、抽選のために情報を共有することをご了承下さい。今回の応募に関する個人情報は適切に保管し、第三者への提供・開示は一切行いません。



QRコードから携帯サイトへアクセスできます。

### 前号の読者プレゼント当選者

木の香温泉「ペア宿泊券」 高知市 I,Rさん	ウッドショップ森林 木の子ども椅子 高知市 H,Kさん 高知市 M,Mさん
山荘榎ヶ森「ペア宿泊券」 土佐市 T,Hさん	Design Studio Kira 写真立て 四万十町 T,Mさん



Post Card



## アンケートにご協力下さい

### ① これまで「mamori」はご覧になりましたか。

1. 読みました 2. 読んでいません

### ② 高知県の「森林環境税」を知っていましたか。

1. 内容なども良く知っている 2. 名前は知っているが内容はあまり知らない  
3. 知らない 4. その他( )

### ③ 本誌の内容はいかがでしたでしょうか。

1. 面白かった 2. 普通 3. 面白くなかった  
理由( )

### ④ 今回の誌面で興味を持ったページはありますか。(複数可)

1. 特集 2. 緑の遊び場 3. 家族で楽しめる高知・山の施設 4. しんりんVOICE  
5. もりからの伝言板 6. 読者プレゼント 7. 木のある暮らし 8. 緑の中のシエスタ  
9. 別のことを取り上げてほしい(例えば )

### ⑤ 本誌を読んで森林環境税の理解が深まりましたか。

1. 良く理解できた 2. 少しは理解できた 3. よくわからない  
4. その他( )

### ⑥ 本誌をどちらで入手しましたか。

1. 学校、幼・保育所などの教育機関 2. 観光施設や道の駅、直販所など  
3. 図書館や郵便局、銀行、病院など公共施設  
4. スーパーや飲食店、美容院など 5. その他( )

### ⑦ 高知県が行っている森林環境税や本誌について、ご感想やご意見をお願いします。

\*アンケートへのご協力、有難うございました。